

まちづくりセンター

地域を花で飾りたい  
もみじ台地区  
「フラワータウン事業」

もみじ台地区のシンボルロード、厚別東通（通称モミジ通り）は、地域住民の手で植えられた色とりどりの花で飾られています。一区画内の植樹升には、同種同一色の花を植え、区画ごとの統一感を出すように工夫されています。



満開の花がまちを飾ります。

もみじ台地区の、地域ぐるみで花いっぱいのもちづくりを進める「フラワータウン事業」は、平成十五年に、もみじ台自治連合会が、創立三十周年を記念し、住民の皆さんが住みよい環境づくりをしていくために始めたものです。当初は、もみじ台まちづくりセンターやショッピングセンター周辺の一区画の花植えからスタートしたが、現在は、南郷通までの両側、総延長約四キロメートル

もみじ台まちづくりセンター  
もみじ台北7丁目1-1 (897) 612-1  
中川 則之 所長  
「皆さんのまちづくり活動を積極的に支援していきます。」



地域住民が共同で、花を植えます。

ル、三二四升、約五千株の花植え活動に発展しています。また、より多くの住民に参加してもらうために、実施母体を昨年八月に発足した「もみじ台まちづくり会議」に移行したことにより、もみじ台地区にある三十五団体の共同事業となりました。今年、六月四日に、約二百人の住民が参加して植え付けを行い、植え付け後は、日々の草取り、やり水を行っています。

フラワータウン事業の企画を担当しているもみじ台自治連合会副会長の板谷一男さんは、「今後は、自治会などに、他の道路の花植えを促し、もみじ台全域を花で飾りたい」と話します。もみじ台地区のフラワータウン事業は、年々活動の輪が広がっています。

区役所掲示板

厚別清掃工場跡地の利用アイデア募集

厚別区では、厚別清掃工場の跡地を当分の間、暫定利用する予定です。その利用方法について、「〇〇をできる場として積極的に利用したい」といったアイデアを提案してください。  
提案のあったアイデアについては、厚別区まちづくり協議会が検討委員会を設置して検討し、厚別区役所に対して利用方法を提言します。

◆アイデアの考え方

公益性がある利用方法で、維持管理・運営について市民の担い手があるもの。  
建物の建設はできません。

◆応募方法

応募用紙に付いている専用はがきに左記事項を記入の上、送付または回収場所に提出。  
・利用アイデア  
・連絡先(住所、氏名、電話番号)

〈厚別清掃工場跡地の概要〉  
所在地：厚別東3条1丁目  
面積：14,000平方メートル  
形態：芝生の平らな土地

※専用はがき以外の用紙及びフアクス、Eメールでの応募可。  
◆応募用紙の配布・回収場所

区役所、各まちづくりセンター、各児童会館、サンピアザ光の広場（サンピアザ光の広場は配布のみ）

◆応募期間

平成17年10月11日(火)～11月5日(土)

◆応募先・詳細

厚別区総務企画課企画調整担当

☎(895)2400内線219

FAX(895)50300

Eメール atsomu@city.sapporo.jp

※厚別区まちづくり協議会  
厚別区の今後のまちづくりを検討していくために、区内の38団体が参加し、今年3月に発足した協議会

